

子どもや保護者へのかかわり方のポイント

1 子どもの理解を深めよう！

子どもを理解するときのポイント
目の前の子どもの行動だけで理解するのではなく、**子どもについていろいろな情報を集め、子どもがなぜこのような行動をとっているのか「背景」から理解することが大切です。**

学校場面で学習面・行動面・生活面
社会性（人間関係）・進路面・健康面での
変化はないか？

参考：(資料7) 子どものシグナルキャッチポイント15
家庭や地域での様子はどうか？



チーム支援会議体験編やコーディネーター会議体験編をして、みんなで情報をつないで子どもを背景から理解することを体験してみましょう！

チーム支援会議での振り返りや

校内支援体制の確立の必要性

2 情報交換を密にしよう！



今日うちのクラスの
国語の授業の様子ど
うでした？

A君は、今日集中
して取り組んでい
なかったよ。



この頃、保健室に
よくおなかが痛い
と来るわ。相談室にも
よく行ってるみたいよ。

次僕の体育の授業な
ので気をつけて様子み
たり、声かけてみたり
しますよ。



いつでもどこでも子どもの情報交換！

休み時間にできる支援会議・コーディネーターの重要性

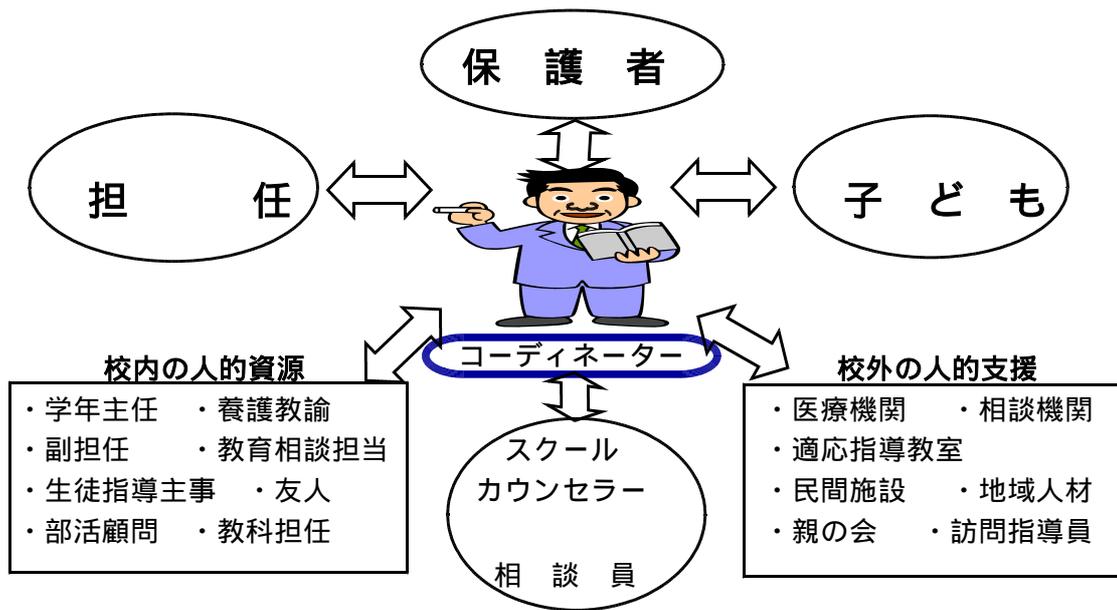


子どもに行った援助に対して、子どもがよくない反応を示したときは、すぐに作戦タイムの時間（休み時間などに）をとみましょう。

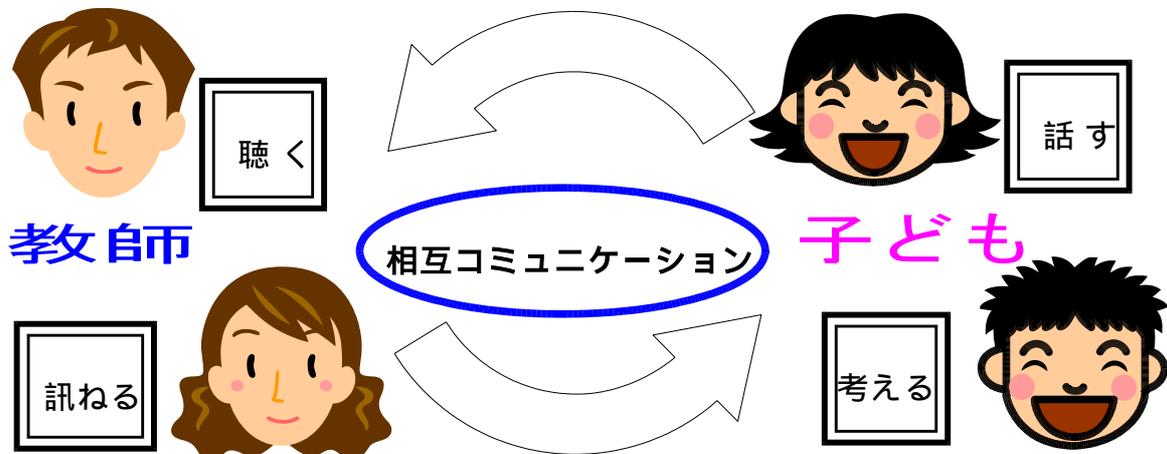
休み時間にできる支援会議のポイント

- 1 どんな支援に対して、拒否反応を示したのか確認する。
その時の子どもの思いを考える。
- ↓
- 2 支援目標を変更する必要があるかどうか検討する。
- ↓
- 3 支援チームメンバーの具体的支援について変更の必要があるかどうか検討する。
- ↓
- 4 チーム支援会議の日時を決める。

コーディネーターはみんなの情報をつなぎ、
協働意識を高めよう！



3 日頃から、相互コミュニケーションを大切にしよう！



SC

子どもに接するときの基本的な態度

- ・子どもに話させる。 ・子どもの考えを引き出す。
- ・子どもの思いを受け入れたり、認めたりする。
- ・失敗について共に振り返り、解決策を一緒に考える。



保護者との相互コミュニケーションを大切にしよう！
保護者との信頼関係が強くなると、子どもが動く！

子どものシグナルキャッチポイント 15

(小学校編)

場 面	キャッチポイント	
朝	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻が増えている。 ・理由の不明確な欠席がある。 ・表情や服装や言葉遣いに変化が見られる。 	
授 業 中	<ul style="list-style-type: none"> ・教師に対する態度に変化が見られる。 ・学習への取組に変化が見られる。 ・テストの成績が急に下がっている。 ・忘れ物や未提出物が増えている。 ・頭痛や腹痛の訴えなど身体症状を訴えることが多い。 	
休 み 時 間 等	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室や職員室への出入りが多い。 ・トラブルが増えたり、友達関係（一緒にいる子など）が変わったりしてきている。 ・食事の様子に変化が見られる。 ・早退が増えている。 	
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃同学年のこと一緒に遊ぶことが少ない。 ・特定の曜日や休み明けに欠席する。 ・家庭での様子に変化が見られる。 	



上のキャッチポイントにチェックがついた場合は、保護者や養護教諭や SC など子どもにかかわっている人から情報集め、一緒に話し合っって子どもを理解しましょう！

子どものシグナルキャッチポイント 15

(中学・高校編)

場面	キャッチポイント	
朝	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻が増えている。 ・理由の不明確な欠席がある。休み明けの欠席が多い。 ・表情や服装や言葉遣いに変化がある。 	
授業中	<ul style="list-style-type: none"> ・教師に対する態度に変化がある。 ・学習への取組に変化がある。 ・テストの成績が急に下がっている。 ・忘れ物や未提出物が増えている。 ・頭痛や腹痛の訴えなど身体症状を訴えることが多い。 	
休み時間等	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室や職員室への出入りが多い。 ・トラブルが増えたり、友達関係（一緒にいる子など）が変わったりしている。 ・食事の様子に変化がある。 ・早退が増えている。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動に消極的になっている。 ・進路について急に態度が変化している。 ・家庭での様子に変化がある。 	



上のキャッチポイントにチェックがついた場合は、保護者や養護教諭や SC など子どもにかかわっている人から情報集め、一緒に話し合っ子どもを理解しましょう！

円環的な問題解決の校内支援体制

